

菊の里地区福まちだより

No.
70
2022年
3月15日発行

地域ぐるみで、お互いに支え合う環境を整え、だれもが安心して暮らせるまちづくりのために「福祉のまち推進事業」として、地域住民の日常的な支え合い活動、ボランティアによる福祉サービスの推進を事業の基本目標として活動します。



白菊記念碑最終の建立祭を終えて

白菊記念碑保存会 会長 金子 芳和

『この地区は以前米里と称し、豊平川の流域に接して氾濫、洪水を重ね先住者は^{いぼら}荊の道を歩き苦節の幾十年もの歳月を過ごした。昭和41年4月この地区の築堤の整備に併せて公共施設の改善と宅地の利用増進を図るを目的として白菊土地区画整理組合を設立、快適な環境と高度な都市機能をもった魅力溢れる街を実現することができ昭和53年3月解散した。』と建立の主旨に記されています。

当時の札幌市長、板垣武四様より『事業完成記念碑』の^{きごう}揮毫をいただき、昭和52年（1977年）7月14日第1回白菊記念碑建立祭を挙行政いたしました。以来、多くの先輩諸氏の願いどおり地区は見違えるほど発展してまいりました。今後、土地区画整理事業に関する記念の事物は『白菊記念碑建立の主旨』のみとし、保存と維持管理を札幌市にお願いすることといたしました。完成から45年の年月が流れ、令和3年7月14日、会員をはじめ多くの方々にご出席いただき、最終の建立祭を挙行政いたしました。

『金の玉は宝に非らず人の心をもって宝とす』

佐藤西次郎翁（白菊土地区画整理組合理事長）の言葉をこの地にいつまでも…

まちづくりセンターでは
住民票・印鑑証明・戸籍謄本等を交付しています ☎871-2355

地域の活動



菊水元町白菊町内会「きらく」
白菊会館



米里町内会「すこやか倶楽部」
米里わいわい公園



東米里町内会「すこやか倶楽部」
東米里福祉会館



菊水元町白菊町内会「きらく」
白菊会館



菊水元町町内会「すこやか倶楽部」
菊水元町会館



菊水元町南町内会「すこやか倶楽部」
南町町内会館

社会部

令和2年、大変雪の少ない新年を迎えた1月、新型コロナウイルスとの戦いが始まりました。社会部取り組みの地域交流各種行事も参加者、スタッフの感染リスクを避ける為に殆どを中止せざるを得なくなりました。昨年に続きまことに残念です。

コロナ感染が終息したときには三世代交流七夕の集い・花火大会、防災訓練等、地域交流の場を演出し、以前のように大人から子どもまでが笑顔で行動できる活動を再開したいと思っていますので、楽しみにお待ちください。

その時のためにお互いに感染リスクを負わない、負わせない、努力を続けていきたいと思えます。

厚生部

厚生部の活動もほとんど自粛となり、これほど長い活動出来ない期間があり今まで活動していた時期が来たりその話題があると、今までの活動を思い出します。

厚生部の主なる活動でパークゴルフ大会・フロアカーリング大会運営があります。その中のフロアカーリング運営での思い出を少しお話しします。フロアカーリングに関しては大会運営だけでなく、地区住民同士等のふれあいと交流・健康維持等を目的に練習会を設け厚生部員も参加しました。毎回設営から練習・撤去まで参加者全員して頂き毎回その度に、多くの方と親睦が深まりました。

また、可愛い児童の参加があります、地区センターでの練習会の他に、地域の2つの児童会館での練習会の指導も行っていました、活発な子供達に指導するのは少々体力が必要でしたが、何回か経験のある上級生が下級生を教えていく間に大会間際には立派にゲームする事が出来ていましたよ。

福祉部

各単町の皆さんとの交流・健康作りのお手伝いを目的として活動しています。この1～2年コロナ禍の為に思うような活動は出来ませんが、せめて紙面上でも皆さんが元気又はこんな事をしてみたいとの情報発信が出来ればと思います。

日帰り温泉など他の単町さん方とのふれあいでワイワイと楽しそうに会話している姿を拝見しますと、人と人とのつながりが大切で素敵なことだと感じ、これからも人の輪を大切に皆さんの笑顔を見る活動をしていこうと思いますので、これからも福祉部を宜しくお願い致します。

交通防犯部

■『菊の里地区交通事故死ゼロ 5,000日達成の表彰』

日頃は、交通安全諸活動に特段のご協力をいただき厚くお礼申し上げます。菊の里地区の多くの人達が一丸となって取り組みを行っている活動に交通安全事業があります。

平成10年4月に菊の里連合町内会創立以来、菊の里地区の「安全ー安心な街づくり」の活動として、多発する交通事故を未然に防止し、私たちの地域から交通事故死を発生させないことを願っての、「交通事故死ゼロ運動」を23年間継続しております。

代表的な、地域の総ぐるみ運動としては、「菊の里地区交通事故STOP!大型街頭啓発」があります。大型街頭啓発では、毎年地域の350名程度の多くの人が集い、

①白石区交通安全広報車や地区の青色回転灯装備車による啓蒙・啓発活動。

②横断幕の掲示による広報活動。

③開催式にあつては、主催及び後援団体からのご来賓挨拶の他に、地域小学校児童代表による交通安全宣言。

その後、小学校児童及び参加者全員にて、環状通りと厚別通りの交差点に立って街頭啓発を行い、ドライバーや地域の皆様へ交通安全の呼びかけを行っています。(街頭啓発始まり以来、菊水小学校・米里小学校の6年生全員が毎年交替で参加)

このような大型街頭啓発の事業のみならず、菊の里地区として単位町内会による早朝街頭啓発や、その他様々な交通安全に関しての活動を真摯に実施して来ました。このような交通安全運動を推進の結果、令和2年8月30日には、「交通事故死ゼロの日5,000日」を達成致しました。

5,000日を達成しましたが、平成10年4月に「交通事故死ゼロ運動」をスタートして、決して順調だった訳ではありませんでした。

運動を始めて8年後には、「交通事故死ゼロの日3,000日」を達成し、更に交通安全を目指していた8ヶ月後には、菊の里地区内にて小学生児童が交通事故で死亡するとの事態が発生してしまい、「交通事故死ゼロ運動」は途切れてしまうとのとても悲しく残念な出来事もありました。そのような状況下でも有りましたが、交通事故のない安全で住みよい街づくりは菊の里地区住民の心からの願いであり、交通事故の悲惨さを再認識して、地域の交通事故にストップをかける交通安全の運動を再び開始いたしました。

『菊の里地区交通事故死ゼロ5000日』を達成は、喜ばしいことではありますが、日々に地域の安全・安心を願う交通安全運動には、通過点であります。令和2年・令和3年は、コロナ渦による状況により、交通安全運動も停滞気味ではありますが、次の6000日達成を目指しての交通安全運動を継続中であります。



赤い羽根共同募金(2021.10.1)

札幌市白石区共同募金委員会 会長 鈴木 實 氏と
菊寿会の皆さんの募金活動(撮影:土肥会長)



菊の里連合町内会から
白石区の福祉に役立て
ていただきたいという
ことで白石区社会福祉
協議会に10万円寄付い
たしました。
感謝状をいただきました。
(2021.11.16)



【本誌は赤い羽根共同募金助成金で発行されています】

菊の里地区福祉のまち推進センター
菊の里地区まちづくりネットワーク協議会

〒003-0828 白石区菊水元町8条1丁目(菊の里まちづくりセンター内)

☎011-871-2448 / ☎871-2355